



2013年3月7日

査読者・編集委員に向けて

情報処理学会 論文誌編集委員会

情報システムグループ主査

坂東宏和

メタ査読者の選定

編集委員がPRMS(※)に登録した
専門分野のキーワード

2170101 (情報教育)
2170103 (教師教育)
2170105 (教育支援)
:

著者が論文投稿時に選択したキーワード

メインキーワード 2170105 (教育支援)
サブキーワード 2170203 (協調学習)

※PRMS: 論文査読管理システム

1. メインキーワードを専門分野として登録している委員をメタ査読者に選定
2. 該当する委員がない場合にはサブキーワードで選定
3. それでもいない場合には主査・副査の判断で選定

ポイント

- ★編集委員は、キーワードをできるだけ多く登録してほしい
- ★著者は、適切なキーワードを選択することが重要
→適切でない場合、メタ査読者選定に時間を要する、適切なメタ査読者が割り当てられない

査読者の選定

- メタ査読者が査読者2名を選定(テクニカルノートは1名)

選定条件

- ◆ 著者・メタ査読者・第1査読者・第2査読者が、同一研究グループに属していないこと(例:共著の論文がある、出身研究室が同じ)
- ◆ 同一所属でないこと
(キャンパスや学部が異なり、頻繁に連絡を取り合う関係でなければ良い?)

ポイント

- ★どこまで不可にするかは難しい問題
→公平な査読が行え、周りの人が見た時に公平であると感じるかがポイント

査読報告書の書き方(採録)

- ◆ 著者へのコメントは必須ではないが、可能であれば一言。
- ◆ 著者には、コメントに従って論文を修正する義務はない
 - 論文が全く修正されない場合であっても採録可能か？
 - …条件付採録・2回目照会を検討
 - 時間と論文の質のどちらを重視するか
- ◆ 新規性・有用性・総合評価の点数と論文賞推薦のチェック
 - 論文賞・特選論文(予定)の選定に利用されるので、しっかりと判定を

点数の目安

- 1, 2: 不採録
- 3: 採録
- 4: 論文賞等に選定しても良い
- 5: 論文賞等にふさわしい

査読報告書の書き方(不採録)

典型的な書き方

1 …は大変興味深い試みであり、その有用性は高いと感じました。

2 しかしながら、…に問題があり、有用性および主張の妥当性を明確に示せていないことから、不採録と判定致しました。

3 意義深い試みであると思いますので、各査読者の指摘を参考に論文を修正され、再投稿されますことを期待致します。

以下に、具体的な理由を示します。

(1)不採録理由1

.....

4 以下はコメントです。再投稿の際の参考にしてください。

1、最初に良い点を書く

2、(メタ査読)両査読者の意見が分かれている場合(条件付採録と不採録等)には、なぜ不採録を支持したのかを明記。例えば、両査読者の意見は分かれましたが、第n査読者の指摘する…は重要な問題であり、この点を解決するには大幅な修正が必要であると思われることから、不採録と判定致しました。

3、確実に不採録な理由を明確に書く
意見が分かれそうなもの(クレームにつながりそうなもの)は、コメントにすると安全

4、不採録の場合も、不採録理由とコメントに分けて書いた方が良い

査読報告書の書き方(条件付採録)

- ◆ 最初に良い点を書く。
- ◆ 条件の形で記述する。
 - ×:「…ではないでしょうか。」:単なる意見の表明。
→**条件としては不適切**
 - :「…ではないでしょうか。説明を追記し、有用性を明確に示してください。」
- ◆ 採録の条件とコメントを分ける。
 - ×:「写真が不鮮明です。鮮明な写真に差し替えてください」
→このような事項を採録条件に入れない
- ◆ (メタ査読者)1査と2査の条件の取り扱いを明記する。
 - 両査読者のすべての採録の条件(、および、下記のすべての条件)を満たすことを採録の条件とします。
 - 第1査読者の不採録理由(1)(3)(4)に記載されている疑問点を解消してください。

査読報告書の書き方(条件付採録)

- ◆ 照会後の再査読の際には、原則として「採録条件を満たしていない」以外の理由で不採録にできない
→採録の条件を十分に考えて設定することが重要

よくあるパターン

条件をすべて満たしているが…

- 修正によって新たな問題点・疑問点が生じた
- 全体として何を言いたいのかが分からない

・採録の条件を次のようにしておく

以下の事項をすべて満たすこと等により、システムの新規性・有用性を明確に示すことを採録の条件とします。

査読報告書の書き方(2回目照会)

- ◆2回目査読の後に使える特別な判定
- ◆採録を前提とするが、どうしても修正してほしい部分がある場合に利用
- ◆照会後の原稿は、メタ査読者1人だけが再判定(査読者は再判定を行わない)

まとめ

- 著者と著者の研究に敬意を払う
 - 不採録: 研究継続・再投稿を促す
- 査読報告書を一度は推敲する
 - 不採録理由・採録の条件は明確に書く
 - 文章だけで伝えるのは難しい